

令和7年度 第2回安曇野市健康づくり推進協議会

- 1 審議会名.....安曇野市健康づくり推進協議会.....
- 2 日 時.....令和7年2月5日 午後1時30分から午後3時まで
- 3 会 場.....安曇野市 豊科公民館
- 4 出席者.....伊藤委員、古川委員、山田委員、小林委員、宮坂委員、
平林委員、青柳委員、鎌崎委員、飯澤委員、中田委員
細萱委員、小杉委員
- 5 市側出席者.....渡邊部長、沖課長、小林センター長、矢花係長、
宮下係長、草間係長、佐野係長、小松係長、浅川係長、
藤原係長、宮澤副主幹
- 6 公開・非公開の別.....公開.....
- 7 傍聴人.....0人.....記者.....0人
- 8 会議概要作成年月日.....令和7年3月8日

協 議 内 容

【協議事項】

- (1)安曇野市健康づくり計画(令和5年度評価)について
- (2)安曇野市自殺対策計画(令和5年度評価)について
- (3)令和6年度安曇野市保健事業(重点)報告について
- (4)令和7年度安曇野市保健事業計画(案)について
- (5)その他

【会議概要】

- 1 安曇野市健康づくり計画(令和5年度評価)について
 - 安曇野市健康づくり計画(令和5年度評価)について、資料に基づき評価グラフと評価結果を説明。
- <主な意見>
- (委 員) 特定保健指導実施率で、令和5年の数値が大幅に下がっている理由は。
- (事務局) 令和5年度低下理由としては、一概には言えないのですが、専任職員の異動に伴い引き継いだ新任職員の経験不足、また体制が整えきれなかった点も大きな要因と考えています。
- (委 員) 評価では、健康でない人たちの実態が示されていますが、健康な方の実態についてはどうなっていますか、またどこに健康の基準を設けるか等の難しい部分もありますが、健康な人のランク付け指標による評価等の統計も必要かと思います。
- (事務局) 健康な方の割合を示した方が良いという事でしょうか。
- (委 員) この評価は国保関係の統計で市の全体実態数値にはなり得ないことと、また疾患者寄りの統計なので、健常者の数値を示してもらえば安曇野市の市民の健康度合いが一目で分かってくると思います。
- (事務局) 市の実施する特定健診は国保の方が対象で、がん検診は年齢ごとの対象となりますが、どちらも受診数は市が実施した検診を受けた方の数値のため、職場や人間ドックで受ける方等の数値把握は難しいのが実態です。
- (委 員) 安曇野市全体の健常者数を、健康づくり政策の進捗を判別する健康実態数値とすることの提案です。
- (事務局) 貴重なご意見ありがとうございます。今回令和5年度の保健指導数値が下がったことについては、お1人お1人にもお話ししながら、発症予防と重症化予防の両方取り組んでいきたいと思っていますので、引き続きよろしく願いいたします。

- (委員) 人工透析者の内、糖尿病有の人の割合が高くなっていますが、新規糖尿病の方の増減が重要かと思いますので、把握していれば教えてください。
- (事務局) 毎月の新規透析患者はレセプトで確認しています。手元に資料が無いため正確な数値はお答えできませんが、ひと月に新規がゼロの時もあれば、1人2人の時もある状況かと思います。
- (委員) 特定保健指導の実施率ですが、職員の異動で下がったと話されましたが、私達一般市民からすると、厳しい言い方なりませんが許されないし納得しないと思います。職員の異動で低下しないよう、また指導する人は何をやっていたのと思われないう、今後このようなことのないようにお願いします。

2 安曇野市自殺対策計画(令和5年度評価)について

- 安曇野市自殺対策計画(令和5年度評価)について、資料に基づき評価グラフと評価結果を説明。

<主な意見>

- (委員) 高齢者の自殺が多いことは悲しいことです。高齢者の低栄養傾向ですが非常に増えており、食事が食べられなくなると精神的にも体力的にも落ちて、フレイルの考え方で虚弱となります。フレイル予防に低栄養を予防する前段階での事業があればと思います。
- また感想として、自主活動グループが増加していることは良いことだと思います。
- (会長) 自殺者のパーセンテージですが、この陰には自殺を図ったけれども、命を落とさなかった方がこの数倍はいると思います。自殺未遂の方に対する行政機関の支援とその対策はありますか。
- (事務局) 一部の未遂の方には保健師等も関わっておりますが、本人の意思同意がないと把握できない部分もあり、全部を把握するのは難しい状況です。

3 令和6年度安曇野市保健事業(重点)報告について

- 令和6年度安曇野市保健事業(重点)報告について、資料に基づき事業実施状況を説明。

<主な意見>

- (会長) 新型コロナウイルスワクチンの副作用について、厚生労働省等の公的機関から正確な情報を見ていただければと思います。
- 風疹は胎児に影響があるため、抗体検査や予防接種をぜひ受けていただければと思います。
- 女性の子宮頸がんのほとんどはHPVの感染によって起こる深刻な疾患です。HPVワクチンのキャッチアップ接種対象の方は、1回目を受けていただければ、7年度に2回目3回目を公費負担で接種ができます。
- また要望として、被害を受けるのは女性で、性行為によって広がることから男女ともにHPVワクチン接種が必要です。東京都では男性にも接種が始まっていますので、御一考いただければと思っています。

4 令和7年度安曇野市保健事業計画(案)について

- 令和7年度安曇野市保健事業計画(案)について、資料に基づき基本方針や新規・重点事業を中心に説明。
- 国保年金課より、前回ご意見をいただいた尿中塩分測定について、実態把握中のため新年度での実施予定はないことを説明。

<主な意見>

- (委員) 健康づくりの啓発が必要かと思います。食生活改善推進協議会、健康づくり推進委員会の廃止は、市の政策方針の推進に支障があるのではないかと心配です。

食育推進関係で、庁内関係部局と連携し食育に関する施策を推進するとありますが、広報誌の郷土の伝統食を紹介するコーナーで、料理のカロリー計算や塩味倍率等を管理栄養士に分析してもらい資料提供等により関係部局内の連携を図るのはどうでしょうか。

5歳児健診を手がけている自治体がテレビで放映されています。当市でも障害のあるお子さんの発見に繋げ、次の医療対策を講じていただけたらと思います。

健康維持し老衰までの生活は、健康寿命の延伸に繋がると思います。高齢者健診の充実として、血液検査項目を増やし、健康または病的なのかの判断することで、生活習慣の早期見直しに繋がります。

(委員) 保育士さんが、こども園の給食の味が薄すぎて子供の食が進まないと話していると聞きました。子供の小さい時の味は、ずっと続くものであり素材の味を感じる薄味の方が良いと考えています。保育士の意識を変えるご指導をお願いします。

安曇野市にお住いの生徒さんの投稿が嬉しかったので紹介します。記事を読んで、この生徒はしっかりとした家庭で育ったのだと思うのと、こども園、小中学校、また栄養士、養護教諭等皆様の地道な指導が子供たちの成長に繋がっている事を感じました。

(委員) 就学前健診は、設置者である市が主体となり実施するのですが、人と場所が足りないとのことで、授業日数を潰して学校で担当教員と市職員での健康診断をおこなっています。さきほどの5歳児健診のご意見がありましたので、できれば市で5歳児健診を就学前健診と併せて実施いただくと助かります。

(委員) 最近特定健診の優等生がフレイル予備群になっている傾向があります。体重が減ってきた高齢者の相談を聞くと、野菜を食べ卵は2日に1回にして健康に気を付けていますとの話になるが、高齢者はしっかり食べることが重要で、若いころと考え方を少し変える必要があることを説明すると聞いて良かったとの感想をいただきます。フレイル予防は介護予防前段階に位置し、高齢者の低栄養低体重になる前の指導は、健康推進課の方である程度率先し重点的にやっていくことが必要なことだと思います。

(事務局) フレイル対策は第3次計画に基づいて、現在高齢者の健診結果をもとに、一体的事業の保健指導の中で、低栄養を管理栄養士、口腔機能の低下は歯科衛生士が対応し実施している状況です。

5 その他

- 令和7年度に穂高健康支援センターの大規模改修工事があることを説明。
- 全体を通しての意見・質問等
・なし